エコアクション21

環境活動レポート

発行：２０１０年　１月　８日

インデックス

１．環境方針
２．事業者活動の概要
３．環境への負荷の低減目標とその実績
４．目標に対する計画と具体的な取組
５．環境活動の取組結果と評価
６．今後の目標と活動計画
７．環境関連法規への違反

株式会社ニッシン

１．環境方針

環境方針

当社の環境マネジメントシステムの継続的な推進と改善は、板金加工業務を通じて、次に示す活動を優先事業活動の一つとして行います。

１．関連法規、法令、規則、条例、協定及びその他合意事項を遵守する。
２．二酸化炭素削減・廃棄物削減・上水の削減に対して目的・目標を定め、継続的改善を実施する事により環境マネジメントシステムの向上を図る。
３．資源リサイクルの推進。
４．環境品質を保証する為に使用禁止物質の削減及び管理の徹底。
５．環境マネジメント活動に、“品質管理”と“５Ｓ”活動をリンクさせながら本システムの効率的改善を図る。
６．全社員がこの方針を理解しスキルアップに努め同じ方向に向かってばく進する。

《この環境方針は社内外に公表します》

２００９年　８月　３日

代表取締役　手塚 文紀

株式会社ニッシン

２．事業者活動の概要

【１】　事業者名及び代表者名

カブシキガイシャ　ニッシン
株式会社ニッシン

テヅカ　フミノリ
代表取締役社長　手塚　文紀

【２】　事業所住所

〒357-0047　埼玉県飯能市落合５００－１

【３】　環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者	環境管理責任者	安達　知明
担当者	環境管理事務局	梅澤　重隆
連絡先	電話番号	042-974-1161
	FAX 番号	042-974-1705
	E-mail	nisshin@maple.ocn.ne.jp
	H.P URL	http://www.nisshin-corp.com/

【４】　事業の内容

精密板金加工、塗装、組立（ＯＡ機器、医療用機器等の製造）

【５】　当社の５Ｓ活動及び環境保全活動の経緯

１９９６年　７月	体質改善５Ｓ活動スタート
２００２年　３月	株式会社リコーグリーン調達ガイドライン認証取得
２００３年　５月	ソニー株式会社グリーンパートナー認証取得
２００６年　３月	エコアクション２１認証取得
２００９年　８月	株式会社リコーＣＭＳガイドライン認証取得
２０１０年　１月現在	ＩＳＯ９００１取得検討中

【６】　事業の規模

創業	昭和４４年　５月
売上高	４億８千万円
従業員数	４７名

３．環境への負荷の低減目標とその実績

【１】　３９期を基準とし、４０期より新たに立てた３年間の目標。尚、上水については備考欄を参考。

NO.	環境負荷項目		単位	39期基準	40期計画	41期計画	42期計画	備　考
1	資源投入	ｺﾋﾟｰ用紙	枚	73,500	目標1%減 72,765	目標3%減 71,295	目標5%減 69,825	
2		使用禁止物質	%	含有率 0%	含有率 0%	含有率 0%	含有率 0%	客先要求事項に対する実績数値
3	水資源投入	上水	m^3	—	基準期 2,036	目標1%減 2,015	目標2%減 1,995	上水は40期（2,036㎥）基準から3%減の活動
4	二酸化炭素	電力 (Co^2)	Co^2 (kwh)	184,097 (487,030)	目標1%減 182,256 (482,160)	目標3%減 178,574 (472,419)	目標5%減 174,892 (462,679)	Co2削減の為のテーマ
5	廃棄物排出	廃棄物 (全体)	kg	1,460	目標1%減 1,445	目標3%減 1,416	目標5%減 1,387	
6		金属くず (ｽｸﾗｯﾌﾟ)	kg	154,684	目標1%減 153,137	目標3%減 150,044	目標5%減 146,950	
7		金属くず (異常発生品)	kg	10,020	目標1%減 9,920	目標3%減 9,720	目標5%減 9,519	
8		金属くず (溶接異常発生品)	件数 (kg)	60 (651)	目標1%減 59 (644)	目標3%減 58 (631)	目標5%減 57 (618)	
9		金属くず (塗装異常発生品)	件数 (kg)	1,226 (0)	目標1%減 1,214 (0)	目標3%減 1,190 (0)	目標5%減 1,167 (0)	

※上記の表は39期（2006/8～2007/7）40期（2007/8～2008/7）41期（2008/8～2009/7）42期（2009/8～2010/7）を表す。

【２】　３９期を基準とし、４０期、４１期の実績は次の通りである。

NO.	環境負荷項目		Ｉ：投入 Ｏ：排出	単位	４０期	４１期	—	備　考
1	資源投入	ｺﾋﾟｰ用紙	I	枚	33,500 54.4%減	31,758 56.8%減	—	
2		使用禁止物質	I	%	0% 要求達成	0% 要求達成	—	
3	水資源投入	上水	I	m^3	2,036 基準期	1,527 25.0%減	—	上水は40期（2,036㎥）基準から3%減の活動
4	二酸化炭素	電力 (Co^2)	I	Co^2 (kwh)	183,596 (485,705) 0.27%減	139,533 (369,135) 24.0%減	—	Co2削減の為
5	廃棄物排出	廃棄物 (全体)	O	kg	940 35.6%減	960 34.2%減	—	前期と比較すると上回っているが、目標は34.2%減と達成されている。
6		金属くず (ｽｸﾗｯﾌﾟ)	O	kg	170,825 10.4%増	128,119 17.2%減	—	
7		金属くず (異常発生品)	O	kg	3,380 66.3%減	7,414 26.0%減	—	前期と比較すると上回っているが、目標は26.0%減と達成されている。
8		金属くず (溶接異常発生品)	O	件数 (kg)	57 (618) 5%減	45 (586) 7.5%減	—	
9		金属くず (再塗装異常発生品)	O	件数 (kg)	437 (0) 64.4%減	424 (0) 65.4%減	—	

※上記の表は40期（2007/8～2008/7）41期（2008/8～2009/7）を表す。
※目標値、実績値は基準期をベースとして計算しております。

４．目標に対する計画と具体的な取組

【１】　目的・目標を達成させる為の環境マネジメントプログラム（計画）は以下の通りである。

全社環境活動計画書

NO	環境負荷項目	環境目的	目標行動内容／実施事項	目標値 計画	担当部門／責任者	手順書
1	電力消費量(Co2)の削減	39期基準42期末5%減	1．照明器具等の見直しと試行と実施 2．現状把握をしての蛍光灯の撤去 3．現状把握をしての蛍光灯の撤去	40期末1%　41期末3%　42期末5%	全部門	電力削減手順書
2	廃棄物の削減	39期基準42期末5%減	1．廃コピー用紙の再利用の徹底 2．購入品等の廃棄物の再利用化 3．廃棄物運搬頻度の削減	40期末1%　41期末3%　42期末5%	全部門	廃棄物削減手順書
3	上水の削減	40期基準43期末3%減	1．水道、蛇口、トイレの節水 2．水道、蛇口、トイレの節水 3．使用メモリ対策の推進	41期末1%　42期末2%　43期末3%	全部門	上水削減手順書
4	使用禁止物質の削減・管理	客先要求事項による徹底管理	1．レベル１含有成分即時納入禁止 2．レベル１，２含有成分即時納入禁止 3．レベル１，２含有成分即時納入禁止	40期末1%　41期末3%　42期末5%	全部門	使用禁止物質削減・管理手順書
5	ｺﾋﾟｰ用紙使用頻度の削減	39期基準42期末5%減	1．コピー用紙の使用頻度の削減 2．不要コピーの見直しと試行と実施 3．不要コピーの見直しと試行と実施	40期末1%　41期末3%　42期末5%	事務所Ｇ	省資源手順書（コピー用紙）
6	ｽｸﾗｯﾌﾟ(SUS)の削減	39期基準42期末5%減	1．SUS材料の現状把握 2．ﾈｽﾃｨﾝｸﾞの見直し 3．端材の徹底管理	40期末1%　41期末3%　42期末5%	第一加工課ＮＣＴＧ	ｽｸﾗｯﾌﾟ(SUS)削減手順書
7	異常発生品ｽｸﾗｯﾌﾟの削減	39期基準42期末5%減	1．異常発生品の低減化 2．異常発生品防止策の実施 3．スキルに対する見直しと試行と実施	40期末1%　41期末3%　42期末5%	第一加工課ベンダーＧ(NCTG)(組立Ｇ)	異常発生品ｽｸﾗｯﾌﾟ削減手順書
8	溶接異常発生品の削減	39期基準42期末5%減	1．異常発生品の現状把握 2．異常発生品防止策の実施 3．スキルに対する見直しと試行と実施	40期末1%　41期末3%　42期末5%	第二加工課	溶接異常発生品削減手順書
9	再塗装異常発生品の削減	39期基準42期末5%減	1．異常発生品の現状把握 2．異常発生品防止策の実施 3．スキルに対する見直しと試行と実施	40期末1%　41期末3%　42期末5%	第三加工課塗装Ｇ	再塗装異常発生品削減手順書
10	再塗装異常発生品の削減(ゴミ)	40期基準43期末5%減	1．異常発生品の現状把握 2．異常発生品防止策の実施 3．掃除エリアの拡大及び定期掃除の実施	41期末1%　42期末3%　43期末5%	第三加工課組立Ｇ	再塗装異常発生品（ゴミ）削減手順書

実施試行、　維持

※１：39期（2006年 8月～2007年 7月）、40期（2007年 8月～2008年 7月）、41期（2008年 8月～2009年 7月）
42期（2009年 8月～2010年 7月）、43期（2010年 8月～2011年 7月）を示す。

【２】　上記計画書を基に以下の通り取組を行う。

①電力(Co2)の削減　　：使用していない機械等のコンセントは差しっぱなししないようにする。又、必要ない照明については蛍光灯の撤去を行う。レイアウトの見直しを行い、必要な箇所のみ照明を設置する。

②全体の廃棄物の削減　：雑誌、紙類のリサイクル強化とビニール類の再利用。

③上水の削減　　：各部門の水道を検証し、上水を最低限の使用とする。

④使用禁止物質の削減　：客先要求事項により使用禁止物質使用をしない。

⑤コピー用紙の削減　　：余分なコピーをしないでペーパーレスへの強化を行う。

④金属くず(スクラップ)：端材在庫の徹底管理、歩留率アップを行う。

⑤金属くず(異常発生品)：異常発生品防止の為の作業性、スキルアップ向上を行う。又、溶接、再塗装の異常発生品防止の強化を行い、再塗装の異常発生品に関しては、ゴミ付着率の低減を強化する。

【３】　毎週月曜日に環境・品質／５Ｓ活動を行っており、その活動の内容は、環境目的・目標に対する取組と教育訓練及び事故及び緊急事態対応の訓練等の実施、品質についての話し合い及びスキルアップの勉強会、５Ｓ（整理、整頓、清潔、清掃、躾）活動を行っている。

５．環境活動の取組結果と評価

【１】　４０期、４１期の評価は以下の通りである。

NO.	環境負荷項目		39期基準	40期目標 40期実績	40期評価	41期目標 41期実績	41期評価	42期目標 42期実績	42期評価	備考
1	資源投入	ｺﾋﾟｰ用紙	73,500	目標1%減 72,765 54.4%減 33,500	◎	目標3%減 71,295 56.8%減 31,758	◎	目標5%減 69,825	—	
2	資源投入	使用禁止物質	含有率 0%	含有率 0% 要求達成 0%	◎	含有率 0% 要求達成 0%	◎	含有率 0%	—	
3	資源投入	上水		基準期 2,036		目標1%減 2,015 25.0%減 1,527	◎	目標2%減 1,995	—	40期を基準
4	二酸化炭素	電力 Co^2 (kwh)	184,097 (487,030)	目標1%減 182,256 (482,160) 0.27%増 183,596 (485,705)	△	目標3%減 178,574 (472,419) 24.0%減 139,533 (369,135)	◎	目標5%減 174,892 (462,679)	—	Co2削減の為のﾃｰﾏ
5	廃棄物排出	廃棄物 (全体)	1,460	目標1%減 1,445 35.6%減 940	◎	目標3%減 1,416 34.2%減 960	◎	目標5%減 1,387	—	
6	廃棄物排出	金属くず (ｽｸﾗｯﾌﾟ)	154,684	目標1%減 153,137 10.4%増 170,825	△	目標3%減 150,044 17.2%減 128,119	◎	目標5%減 146,950	—	
7	廃棄物排出	金属くず (異常発生品)	10,020	目標1%減 9,920 27.8%減 7,236	◎	目標3%減 9,720 26.0%減 7,414	◎	目標5%減 9,519	—	
8	廃棄物排出	金属くず (溶接異常発生品) 件数（kg）	60 (651)	目標1%減 59 (644) 5%減 57 (618)	◎	目標1%減 58 (631) 7.5%減 45 (586)	◎	目標1%減 57 (618)	—	
9	廃棄物排出	金属くず (再塗装異常発生品) 件数（kg）	1,226 (0)	目標1%減 1,214 (0) 64.4%減 437 (0)	◎	目標1%減 1,190 (0) 65.4%減 424 (0)	◎	目標1%減 1,167 (0)	—	

※上記の表は39期（2006/8～2007/7）40期（2007/8～2008/7）41期（2008/8～2009/7）
42期（2009/8～2010/7）を表す。

※目標値、実績値は基準期をベースとして計算しております。

※評価は次の通り。◎：削減されている　△：削減されていない

【２】　考察

４１期（2008/8～2009/7）の実績としては各目標項目全て達成する事が出来ました。特に上水と電力に関しては、電力は電力メーター設置による使用量把握により、全従業員が電力使用量に対する意識が向上し、前期よりも大幅に削減がされるようになりました。上水は前期の改善効果が表れてきていると思います。

４２期（2009/8～2010/7）の目的目標の改訂等はありませんが、４１期に達成された内容より更に改善効果を上げる仕組みを行っていきたいと思います。又、現在検討中のＩＳＯ９００１取得に向けての準備も一つの課題として目的に掲げています。

【３】　改善及び主な活動の成果

①　電気使用量のメーター設置

※　電力メーターの設置をする事によって、年間の電気使用量を抑える事が可能となりました。
又、基準デマンド値を設定する事で、基準値に近くなると警告音が鳴り、そのため基準値以下で抑える事も可能となりました。

②　５Ｓ活動：毎週月曜日の朝　８：００～　８：４０までの４０分間、５Ｓ活動を実施しております。その中で改善された内容は以下の通り。

Ⅰ．工具管理板を改造し見栄えよくする改善（第一加工課ベンダーＧ）

ベンダーＧ改善前

ベンダーＧ改善後

今までの改善から更に改善を行いました。例として工具管理板の見直しを行った第一加工課ベンダーＧの改善内容。

Ⅱ．不要物の撤去とスペースの確保の改善を行いました。（レーザー室の階段下）

改善前

改善後

青の棚に不要物が置かれていた物を一層撤去し、この場所にスペースが確保できました。

６．今後の目標と活動計画

【１】　４０期（２００７年　８月）から引き続き次の通り取り組みを行う。

NO.	環境負荷項目		単位	39期基準	40期計画	41期計画	42期計画	備　考
1	投入資源	ｺﾋﾟｰ用紙	枚	73,500	目標1%減 72,765	目標3%減 71,295	目標5%減 69,825	
2		使用禁止物質	%	含有率 0%	含有率 0%	含有率 0%	含有率 0%	客先要求事項に対する実績数値
3	投入資源	水 上水	m^3	―	基準期 2,036	目標1%減 2,015	目標3%減 1,974	上水は新規設備導入により40期（2,036㎥）基準から5%減の活動
4	炭素	二酸化 電力 (Co^2)	Co^2 (kwh)	184,097 (487,030)	目標1%減 182,256 (482,159)	目標3%減 178,574 (472,419)	目標5%減 174,892 (462,678)	Co2削減の為のテーマ
5	廃棄物排出	廃棄物 (全体)	kg	1,460	目標1%減 1,445	目標3%減 1,416	目標5%減 1,387	
6		金属くず (SUS) (ｽｸﾗｯﾌﾟ)	kg	4,280	目標1%減 4,237	目標3%減 4,151	目標5%減 4,066	
7		金属くず (異常発生品)	kg	10,020	目標1%減 9,920	目標3%減 9,720	目標5%減 9,520	
8		金属くず (溶接異常発生品)	件数 (kg)	60 (651)	目標1%減 59 (644)	目標3%減 58 (632)	目標5%減 57 (620)	
9		金属くず (塗装異常発生品)	件数 (kg)	1,226 (0)	目標1%減 1,214 (0)	目標3%減 1,190 (0)	目標5%減 1,167 (0)	塗装Ｇ、組立Ｇ共に削減項目として行う。

※上記の表は39期（2006/8～2007/7）40期（2007/8～2008/7）41期（2008/8～2009/7）
42期（2009/8～2010/7）を表す。

※目標値、実績値は基準期をベースとして計算しております。

【２】　４２期（２００９年８月）より目的・目標を達成させる為の環境マネジメントプログラム（計画）は４１期（２００８年８月）同様以下の通りである。

全社環境活動計画書

NO	環境負荷項目	環境目的	目標行動内容／実施事項	目標値 計画	担当部門／責任者	手順書
1	電力消費量(Co2)の削減	39期基準42期末5%減	1．照明器具等の見直しと試行と実施 2．現状把握をしての蛍光灯の撤去 3．現状把握をしての蛍光灯の撤去	40期末1%　41期末3%　42期末5%	全部門	電力削減手順書
2	廃棄物の削減	39期基準42期末5%減	1．廃コピー用紙の再利用の徹底 2．購入品等の廃棄物の再利用化 3．廃棄物運搬頻度の削減	40期末1%　41期末3%　42期末5%	全部門	廃棄物削減手順書
3	上水の削減	40期基準43期末3%減	1．水道、蛇口、トイレの節水 2．水道、蛇口、トイレの節水 3．使用メモリ対策の推進	41期末1%　42期末2%　43期末3%	全部門	上水削減手順書
4	使用禁止物質の削減・管理	客先要求事項による徹底管理	1．レベル１含有成分即時納入禁止 2．レベル１，２含有成分即時納入禁止 3．レベル１，２含有成分即時納入禁止	40期末1%　41期末3%　42期末5%	全部門	使用禁止物質削減・管理手順書
5	ｺﾋﾟｰ用紙使用頻度の削減	39期基準42期末5%減	1．コピー用紙の使用頻度の削減 2．不要コピーの見直しと試行と実施 3．不要コピーの見直しと試行と実施	40期末1%　41期末3%　42期末5%	事務所Ｇ	省資源手順書（コピー用紙）
6	ｽｸﾗｯﾌﾟ(SUS)の削減	39期基準42期末5%減	1．SUS材料の現状把握 2．ﾈｽﾃｨﾝｸﾞの見直し 3．端材の徹底管理	40期末1%　41期末3%　42期末5%	第一加工課ＮＣＴＧ	ｽｸﾗｯﾌﾟ(SUS)削減手順書
7	異常発生品ｽｸﾗｯﾌﾟの削減	39期基準42期末5%減	1．異常発生品の低減化 2．異常発生品防止策の実施 3．スキルに対する見直しと試行と実施	40期末1%　41期末3%　42期末5%	第一加工課ベンダーＧ(NCTG)(組立Ｇ)	異常発生品ｽｸﾗｯﾌﾟ削減手順書
8	溶接異常発生品の削減	39期基準42期末5%減	1．異常発生品の現状把握 2．異常発生品防止策の実施 3．スキルに対する見直しと試行と実施	40期末1%　41期末3%　42期末5%	第二加工課	溶接異常発生品削減手順書
9	再塗装異常発生品の削減	39期基準42期末5%減	1．異常発生品の現状把握 2．異常発生品防止策の実施 3．スキルに対する見直しと試行と実施	40期末1%　41期末3%　42期末5%	第三加工課塗装Ｇ	再塗装異常発生品削減手順書
10	再塗装異常発生品の削減(ゴミ)	40期基準43期末5%減	1．異常発生品の現状把握 2．異常発生品防止策の実施 3．掃除エリアの拡大及び定期掃除の実施	41期末1%　42期末3%　43期末5%	第三加工課組立Ｇ	再塗装異常発生品（ゴミ）削減手順書

実施試行、　維持

※１：39期（2006年 8月～2007年 7月）、40期（2007年 8月～2008年 7月）、41期（2008年 8月～2009年 7月）
42期（2009年 8月～2010年 7月）、43期（2010年 8月～2011年 7月）を示す。

7．環境関連法規への違反、訴訟等の有無

【１】　下記の通り自ら遵守状況をチェックし問題点がない事を確認しています。

環境関連法規項目			遵守結果
法規制違反の有無	公害に関する法律	下水道法	2010年1月現在無し
		騒音規制法	2010年1月現在無し
		振動規制法	2010年1月現在無し
		悪臭防止法	2010年1月現在無し
	廃棄物・リサイクルに関する法律	循環型社会形成推進基本法	2010年1月現在無し
		廃棄物の処理及び清掃に関する法律	2010年1月現在無し
		再生資源の利用の促進に関する法律	2010年1月現在無し
		使用済自動車の再資源化等に関する法律	2010年1月現在無し
	化学物質に関する法律	毒物及び劇物取締法	2010年1月現在無し
		消防法	2010年1月現在無し
		高圧ガス保安法	2010年1月現在無し
	その他の法律	労働安全衛生法	2010年1月現在無し
		粉塵障害防止規則	2010年1月現在無し
	条例	埼玉県環境保全条例	2010年1月現在無し
		飯能市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	2010年1月現在無し
		飯能市下水道条例	2010年1月現在無し
訴訟の有無	環境関連訴訟		2010年1月現在無し

【２】　外部からの苦情、関連当局からの違反の指摘は過去３年間ありません。